飛鳥資料館　春期特別展　「あすかの原風景」

飛鳥寺発掘時の飛鳥集落（昭和31年）

飛鳥時代の遺跡と農村の暮らしが一体となった明日香村には、「日本の原風景」とも言われる眺めが広がっています。この歴史的風土を守るため、人々が立ち上がってから、ほぼ半世紀が経ちました。この間、村内では懐かしい農村風景が保たれながらも、集落の人口構成の変化や道路の開通、発掘調査の進展や遺跡の整備等により、少しずつ景色がうつりかわってきています。

江戸時代から近代にかけての飛鳥では、古代の石造物や古墳の高まり等が歴史家の注目を集めるいっぽう、飛鳥の小盆地とその周辺には、当時の日本ではあたり前の農村の景色が広がっていました。近代の地図や、昭和期の発掘調査時に撮影された写真等からは、飛鳥ブームが巻き起こる以前の「あすか」の原風景がうかがえます。

今回の展覧会では、これらの地図や古写真等の貴重な資料をもとに、明治期から昭和中期にかけての飛鳥の集落の様子を紹介します。この展覧会が、かつての村の姿をふりかえり、未来に伝えていく契機となれば幸いです。

（飛鳥資料館　西田 紀子）

会　　期：４月27日（金）～７月１日（日）月曜休館（祝日の場合は翌平日）　※４月30日、５月１日は開館
開 館 時 間：９：00～16：30（入館は16：00まで）
ウォークイベント：５月11日（金）　11：00～15：30（予定）古写真・古地図と歩く飛鳥（事前申込制）
ギャラリートーク：５月１日（火）・６月２日（土）各日14：00～
ホームページ：https://www.nabunken.go.jp/asuka/　お問合せ：☎0744-54-3561（飛鳥資料館）

平城宮跡資料館　展示リニューアル

新しい研究室コーナー

2018年１月４日より、平城宮跡資料館は館の一部をリニューアルしました。大きな変更点として、研究室コーナーにおける、研究室ごとの黒板の設置があります。

奈良文化財研究所では、日々発掘調査をおこない、日進月歩で新たな研究成果が蓄積されています。これら研究所ならではの調査研究や、そこから得られた新たな知見を黒板コーナーにて随時更新し、紹介する試みです。

初回となる今回は、木器の研究室：百万塔、土器の研究室：奈良三彩、瓦の研究室：瓦の三次元計測を取り上げます。また、研究室コーナーの一角に新たに奈文研トピックスというコーナーを設けました。ここでは、奈文研における様々なフィールドでの最新の研究成果を取り上げます。今回は年代学研究室による薬師寺東塔を対象とした、年輪年代分析について紹介します。奈文研がおこなう、様々な研究分野における日々の挑戦や研究の進展をお伝えできれば幸いです。

（企画調整部　座覇 えみ）

開 館 時 間：９：00～16：30（入館は16：00まで）
休　館　日　：月曜日（祝日の場合は翌平日）
ホームページ：https://www.nabunken.go.jp/heijo/museum/　お問合せ：☎0742-30-6753（連携推進課）

■　お知らせ

第16回 平城宮跡　県民クリーン大会

４月７日（土）朱雀門前　９：30集合（申込不要）
※雨天の場合は４月14日（土）に実施します。

■　記　録

文化財担当者研修（専門研修）

○報告書デジタル作成課程
2017年12月14日～12月21日　15名
○名勝保存活用基礎課程
2018年１月15日～１月19日　11名
○保存科学Ⅲ（応急処置）課程
2018年２月13日～２月16日　15名

平城宮跡資料館　新春ミニ展示

１月４日（木）～１月28日（日）　5,220名
「平城京の戌」

飛鳥資料館　冬期企画展

１月26日（金）～３月18日（日）　2,956名
「飛鳥の考古学2017」

現地説明会等

○平城第593次調査（平城宮東院地区）
2017年12月23日（土）　823名
○飛鳥藤原第195次調査（大極殿院回廊東北隅）
2018年３月３日（土）　645名

編集　「奈文研ニュース」編集委員会
発行　奈良文化財研究所　https://www.nabunken.go.jp
Ｅメール　jimu@nabunken.go.jp
発行年月　2018年3月